



## Surface Dial アドイン

CorelDRAW Graphics Suite では Microsoft Surface Dial などのホイール デバイスを使用でき、ユーザーはクリエイティブな作業に集中できます。特にスタイラスとホイール デバイスを組み合わせて使用すると、描画や作成が人間工学的に理にかなった自然な作業になります。スタイラスでスケッチやデザインをしながら、利き手ではないほうの手でツールやタスクの間を簡単に行き来できます。

ホイール デバイスは、オフスクリーン (机上に配置) とオンスクリーン (画面上に配置) の2つのモードで使用できます。

### オフスクリーンモード

ホイール デバイスが机上に置かれている場合は、オンスクリーン インターフェイスを使用してズーム インまたはズームアウトしたり、操作を元に戻したりやり直したりすることができます。また、ドキュメント内のページ間を移動できるようになるほか、選択したオブジェクトを別のオブジェクトの前面や背面に動かしてオブジェクトの重ね順を変更することもできます。ホイール デバイスはさらに、LiveSketch ツールをより効率的に使う役に立ちます。詳しくは、7ページの「ホイール デバイスと LiveSketch ツール」を参照してください。



CorelDRAW でオフスクリーン モードで使用されている Surface Dial のオンスクリーン UI。

## オフスクリーン モードでホイール デバイスを使用するには

- 1 ホイール デバイスを押し下げてオンスクリーン メニューを表示し、離します。
- 2 ホイール デバイスを回してオンスクリーン メニューから次のいずれかのコマンドを選択し、クリックします。
  - **ズーム** — ズーム インまたはズーム アウトします。
  - **元に戻す** — 操作を元に戻したり、やり直したりします。
  - **LiveSketch** — **LiveSketch** ツールを使用している場合に、ストロークを元に戻したり、即座に調整したりします。詳しくは、7 ページの「オフスクリーン モードで LiveSketch ツールをホイール デバイスと組み合わせて使用するには」を参照してください。
  - **オブジェクトの順序** — 選択したオブジェクトを前面または背面に動かして重ね順を変更します。
  - **ページ** — ドキュメント内のページ間を移動します。
- 3 ホイール デバイスを時計回りまたは反時計回りに回して、タスクを完了します。

## オンスクリーン モード

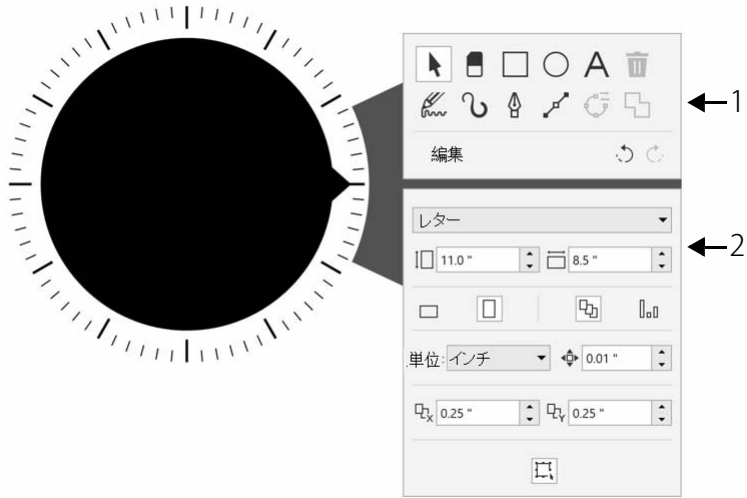
オンスクリーン モードでは (ホイール デバイスを画面上に配置している場合)、オンスクリーン UI は画家のパレットを模したデザインになっており、**ツール** パネルや**プロパティ** パネルからツールやコントロールに素早くアクセスできます。オンスクリーン UI のツールやコントロールを選択するにはスタイラスを使用する必要がありますが、タッチスクリーン対応のデバイスならタップするだけで選択できます。

デフォルトの**ツール** パネルでは、**選択**、**消しゴム**、**長方形**、**楕円形**、**テキスト**、**ペン**、**ベジェ**の各ツールを切り替えることができます。また、[削除]、[曲線に変換]、[ウェルド]などのよく使うコマンドにもアクセスできます。

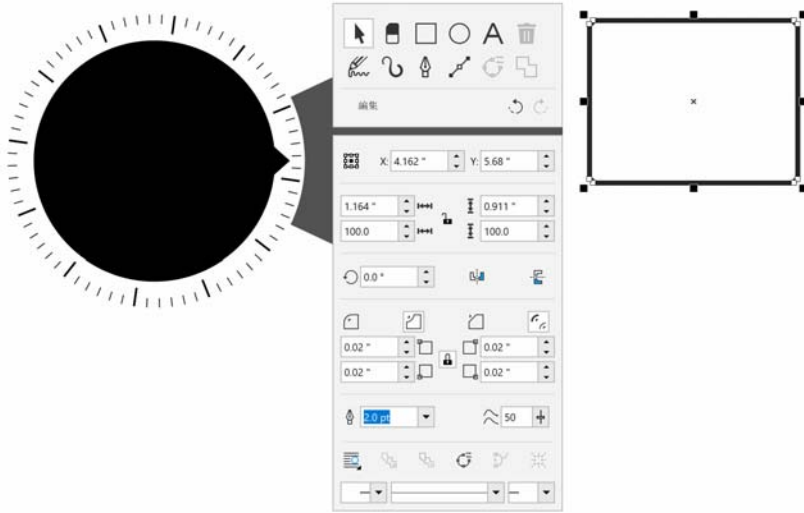
**プロパティ** パネルでは、ドキュメント、ツール、オブジェクトの設定を調整できます。たとえば、ドキュメントのサイズや向き、測定単位を変更できます。

**プロパティ** パネルは**プロパティ** バーに似ています。ここには、選択したツールやオブジェクトに関連するコントロールが表示されます。**ツール** パネルでツールを切り替えるたびに**プロパティ** パネルが更新されるので、ツールやオブジェクトの**プロパティ**をその場で編集できます。たとえば、描画ウィンドウでオブジェクトを選択している場合、**プロパティ** パネル

を使用してオブジェクトの幅や高さ、輪郭の幅を素早く調整したり、オブジェクトをミラー化および回転させたりすることができます。また、プロパティ値を調整する必要がある場合も、ホイール デバイスを使えば細かく調整できます。



描画ウィンドウに配置されたホイール デバイスのオンスクリーン UI: ツールパネル (1) とプロパティパネル (2)。



プロパティパネルに表示されるコントロールを使用して、選択したオブジェクトを編集できます。この例では長方形が選択されています。

ツールパネルを各自のワークフローに合わせてカスタマイズし、必要なツールにアクセスしやすくするために、ツールを削除、追加、並べ替えることができます。



左: デフォルトのツールパネル。右: カスタマイズされたツールパネル。この例では、新たなツール(切り抜き、ナイフ、スマート描画)が追加され、[削除]ボタンが削除され、ツールが並べ替えられています。


## オンスクリーン モードでホイール デバイスを使用して、ツールを選択したりプロパティを調整したりするには

- 1 利き手ではないほうの手で、ホイール デバイスを画面上に配置します。  
ツール パネルとプロパティ パネルがホイール デバイスの横に表示されます。
- 2 スタイラスまたはマウスを使用して、次の表のタスクを実行します。

目的	作業手順
ドキュメントのプロパティを調整する	描画ウィンドウでオブジェクトを選択していないことを確認します。 ツール パネルで、 <b>選択</b> ツールを選択します。プロパティ パネルで、コントロールを選択します。値を調整するには、ホイール デバイスを時計回りまたは反時計回りに回します。
ツールを選択する	ツール パネルで、ツールを選択します。
ツールやオブジェクトのプロパティを調整する	プロパティ パネルで、調整するコントロールを選択します。値を調整するには、ホイール デバイスを時計回りまたは反時計回りに回します。

## オンスクリーン モードでホイール デバイスを使用して、オブジェクトを削除、変換、またはウェルドするには

- 1 ホイール デバイスを画面上に配置します。  
ツール パネルとプロパティ パネルがホイール デバイスの横に表示されます。
- 2 スタイラスまたはマウスを使用して、次の表のタスクを実行します。

目的	作業手順
選択したオブジェクトを削除する	ツール パネルの [削除] ボタン  を選択します。


## 目的

## 作業手順

選択したオブジェクトを曲線に変換する

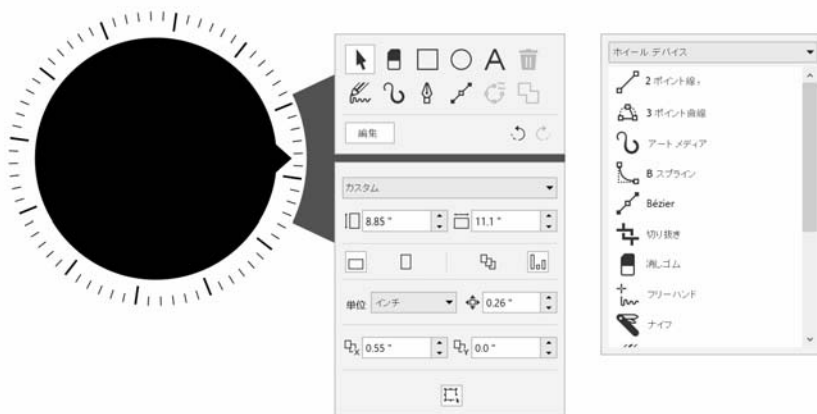
ツールパネルの[曲線に変換]ボタン  を選択します。

選択したオブジェクトをウェルドする

ツールパネルの[ウェルド]ボタン  を選択します。

## ツールパネルをカスタマイズするには

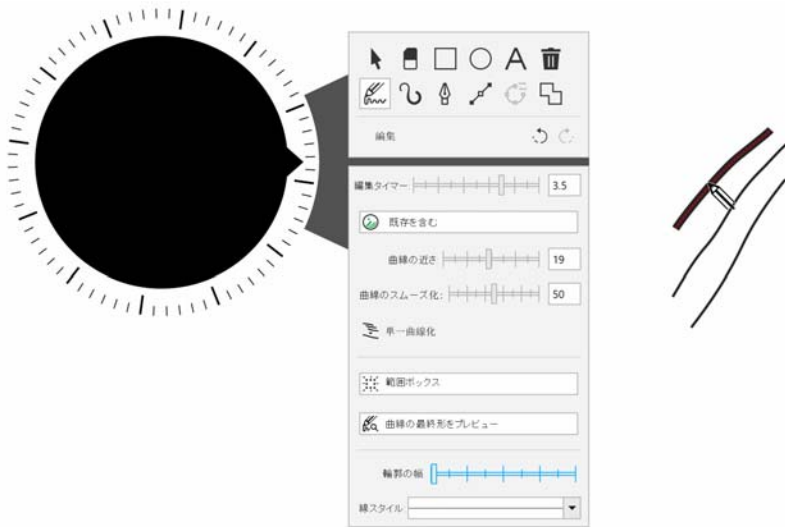
- 1 ホイール デバイスを画面上に配置します。  
ツールパネルとプロパティパネルがホイール デバイスの横に表示されます。
- 2 スタイラスまたはマウスでツールパネルの[編集]を選択します。  
カスタマイズパネルが開きます。
- 3 ツールを追加するには、そのツールをカスタマイズパネルからツールパネルへドラッグします。
- 4 ツールを削除するには、そのツールをツールパネルの外にドラッグします。
- 5 ツールパネルのツールを並べ替えるには、ツールを新しい場所へドラッグします。



ツールの追加、削除、並べ替えによってツールパネルをカスタマイズできます。

## ホイール デバイスと LiveSketch ツール

ホイール デバイスは、LiveSketch ツールを使用してスケッチする場合に特に便利です。オフスクリーンモードのホイール デバイスでは、簡単にストロークを元に戻したり、やり直したりできます。オンスクリーンモードでは、さまざまなツールやストロークのプロパティを調整できます。さらに、ホイール デバイスのいずれのモードでも、キーボードを使わずにタイマーをリセットしたりストロークを即座に調整したりできます。



LiveSketch ツール関連のコントロールが表示されたプロパティ パネル。

### オフスクリーンモードで LiveSketch ツールをホイール デバイスと組み合わせて使用するには

- 1 CorelDRAW で、ツールボックスの **LiveSketch** ツールをタップします。
- 2 ホイール デバイスを押し下げてオンスクリーンメニューを開き、ホイール デバイスを回して **LiveSketch** を選択し、クリックします。
- 3 スケッチを開始し、以下のいずれかを行います。
  - ストロークを元に戻すかやり直すには、ホイール デバイスを時計回りまたは反時計回りに回します。
  - 指定した時間が経過する前にストロークを即座に調整するには、クリックします。

## オンスクリーン モードで LiveSketch ツールをホイール デバイスと組み合わせて使用するには

- 1 CorelDRAW で、ツールボックスの **LiveSketch** ツールをタップします。
- 2 ホイール デバイスを画面上に配置し、オンスクリーン メニューを開きます。
- 3 次の表のいずれかのタスクを実行します。

目的	作業手順
LiveSketch の設定を調整する	スタイラスまたはマウスを使用して、調整するコントロールを <b>プロパティ</b> パネルで選択します。値を調整するには、ホイール デバイスを時計回りまたは反時計回りに回します。
タイマーをリセットしたり、ストロークを即座に調整する	<b>LiveSketch</b> ツールを使用してスケッチしているときに、指定した時間が経過する前にストロークを仕上げるには、ホイール デバイスをクリックします。  ヒント: ホイールデバイスがない場合は、タイマーをリセットしたりストロークを即座に調整したりするには <b>Enter</b> キーを押します。

## ホイール デバイスと Corel PHOTO-PAINT

Corel PHOTO-PAINT では、ホイール デバイスのオンスクリーン モードとオフスクリーン モードに違いはありません。ホイール デバイスを画面上と机上のどちらに配置しても、オンスクリーン UI で **[元に戻す]**、**[ズーム]**、**[オブジェクトの順序]** の各コマンドを使用できます。